石川県地震概況（令和７年４月）

令　和　７　年　５　月　９　日
金　沢　地　方　気　象　台

１．概況

令和７年（2025 年）４月に石川県内の震度観測点で震度１以上を観測した地震は 13 回（前月 12 回）で、そのうち 12 回は令和６年能登半島地震の活動域及びその周辺（図の領域ａ）で発生しました。

令和６年能登半島地震の活動域とその周辺では、地震活動が活発な状態が継続しています。（令和７年５月　地震防災メモ②を参照）。

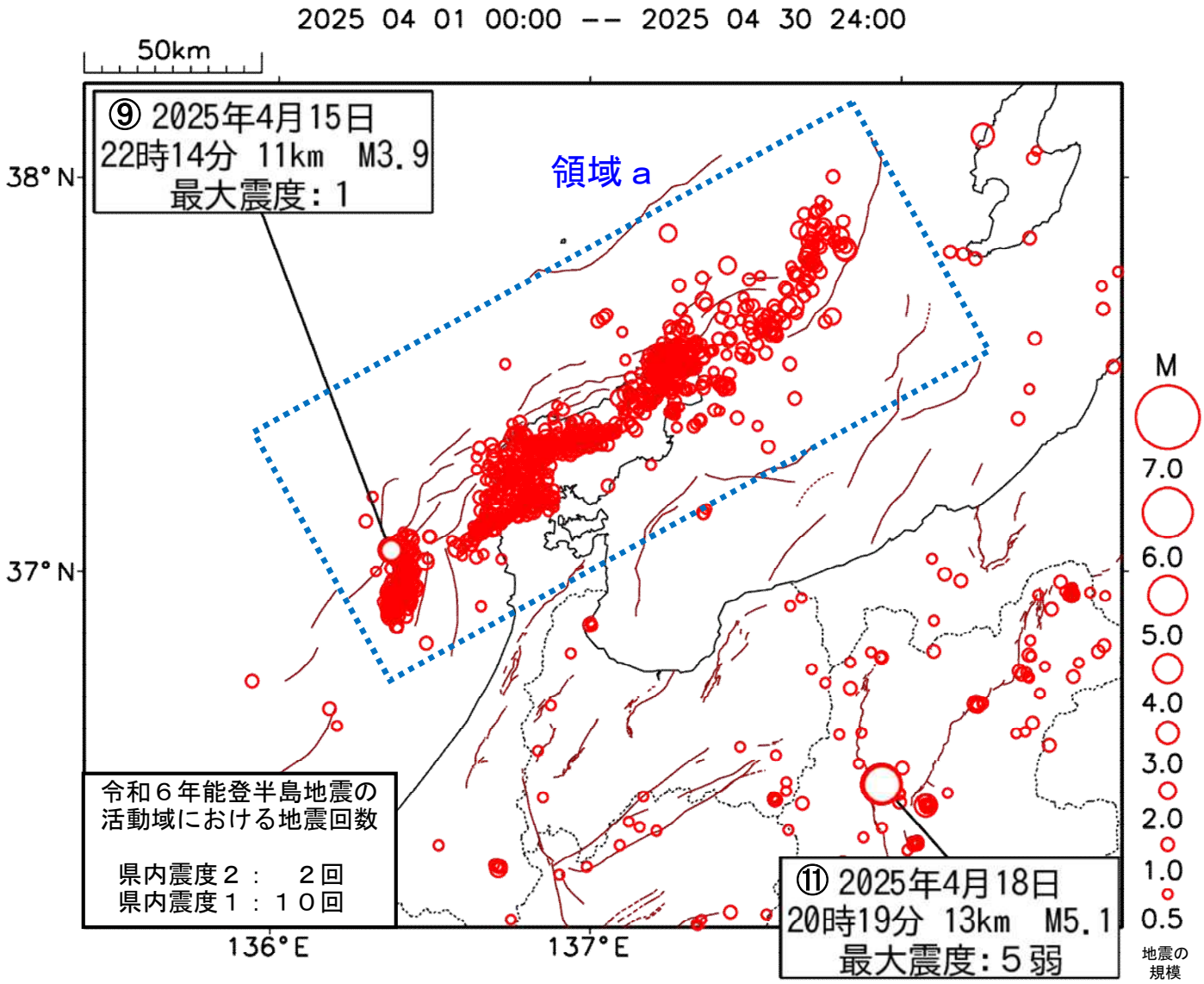


図1　令和７年（2025年）４月の深さ30km以浅、M0.5以上の地震の震央分布図
地殻内で発生した地震のみ表示しています。
図の茶色線は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す。
①などの数字は４項「震度１以上を観測した地震の表」の地震を示す。
この資料は速報であり、後日の調査により修正することがあります。

２．過去1年間に石川県内で震度1以上を観測した地震の震度別回数表

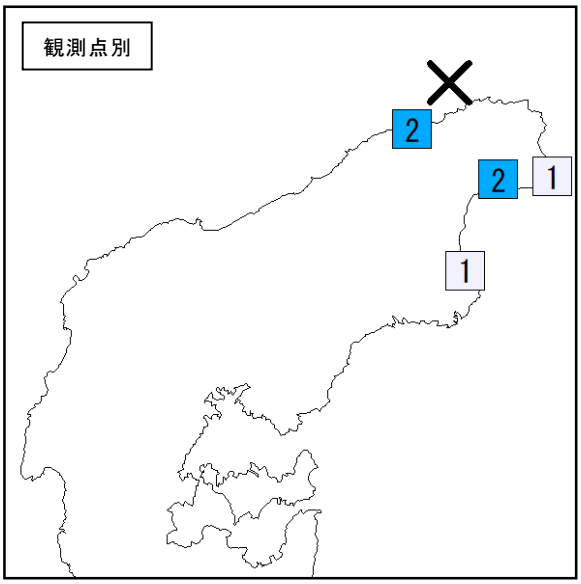
年	2024年								2025年				
月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	合計
震度1	20	27	18	12	14	8	88	24	9	18	7	10	255
震度2	6	5	4	4	4	6	41	12	2	5	3	3	95
震度3	2	1	1	1	0	0	6	1	2	2	1	0	17
震度4	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	3
震度5弱	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
震度5強	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
合計	28	35	23	17	18	14	137	37	13	25	12	13	372

３．令和７年（2025 年）４月に石川県内で震度１以上を観測した地震の震央と震度分布図

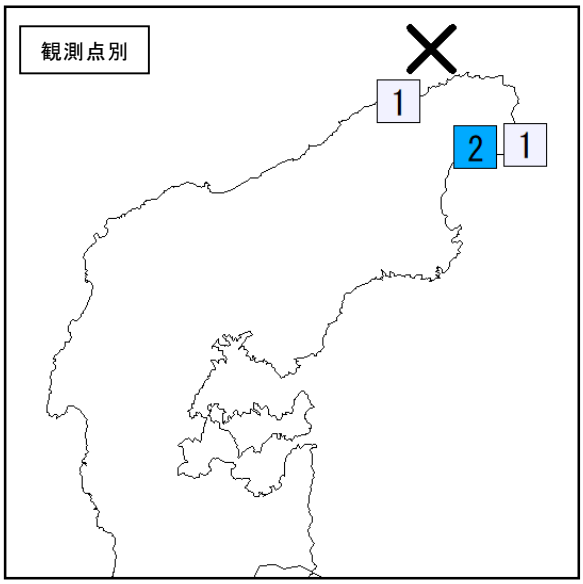
※令和６年能登半島地震の活動域（領域ａ）の地震活動については最大震度２以上の震度分布図のみ掲載。

震度１以上の地震については気象庁 HP「震度データベース検索」※を参照

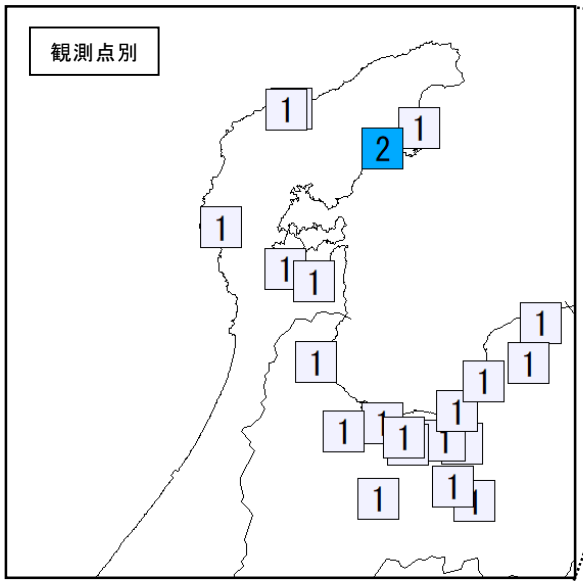
※ https://www.data.jma.go.jp/svd/eqdb/data/shindo/index.html



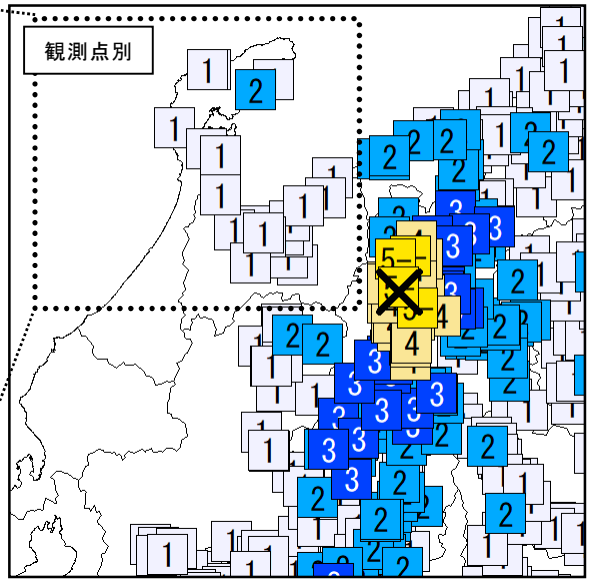
⑤4月12日20時34分　能登半島沖
深さ 12km　M 3.6（能登地方）



⑫4月19日12時56分　能登半島沖
深さ 13km　M 3.8（能登地方）



⑪4月18日20時19分　長野県北部
深さ 13km　M 5.1（石川県周辺）



⑪4月18日20時19分　長野県北部
深さ 13km　M 5.1（広域）

４．令和７年（2025 年）４月に石川県内で震度１以上を観測した地震の表

番号	地震の発生日時	震央地名	緯　度	経　度	深　さ	地震の規模
	各地の震度					
①	4月1日20時32分	石川県西方沖	36° 55.3’ N	136° 23.5’ E	12 km	M 2.7
	震度1 ： 志賀町香能＊					
②	4月8日00時39分	石川県能登地方	37° 12.6’ N	136° 43.4’ E	9 km	M 3.0
	震度1 ： 志賀町富来領家町,志賀町香能＊					
③	4月9日06時10分	能登半島沖	37° 06.5’ N	136° 38.5’ E	11 km	M 2.9
	震度1 ： 志賀町香能＊					
④	4月9日22時05分	石川県西方沖	36° 59.8’ N	136° 24.7’ E	12 km	M 3.6
	震度1 ： 志賀町香能＊					
⑤	4月12日20時34分	能登半島沖	37° 32.8’ N	137° 13.5’ E	12 km	M 3.6
	震度2 ： 珠洲市正院町＊,珠洲市大谷町＊					
	震度1 ： 珠洲市三崎町,能登町松波＊					
⑥	4月14日09時02分	石川県能登地方	37° 27.7’ N	137° 06.9’ E	9 km	M 2.7
	震度1 ： 珠洲市大谷町＊					
⑦	4月15日01時49分	石川県能登地方	37° 11.4’ N	136° 50.0’ E	10 km	M 2.8
	震度1 ： 穴水町大町＊					
⑧	4月15日08時13分	石川県西方沖	36° 57.0’ N	136° 23.4’ E	12 km	M 3.2
	震度1 ： 志賀町香能＊					
⑨	4月15日22時14分	石川県西方沖	37° 03.8’ N	136° 22.1’ E	11 km	M 3.9
	震度1 ： 七尾市本府中町,羽咋市柳田町,羽咋市旭町＊,志賀町富来領家町,志賀町香能＊,小松市小馬出町,加賀市大聖寺南町＊,津幡町加賀爪,かほく市浜北＊,かほく市宇野気＊					
⑩	4月17日01時47分	石川県西方沖	36° 57.4’ N	136° 22.4’ E	12 km	M 3.0
	震度1 ： 志賀町香能＊					
⑪	4月18日20時19分	長野県北部	36° 28.1’ N	137° 54.8’ E	13 km	M 5.1
	震度2 ： 能登町宇出津					
	震度1 ： 七尾市本府中町,七尾市垣吉町＊,輪島市鳳至町,輪島市河井町＊,志賀町富来領家町,能登町松波＊					
⑫	4月19日12時56分	能登半島沖	37° 33.6’ N	137° 13.4’ E	13 km	M 3.8
	震度2 ： 珠洲市正院町＊					
	震度1 ： 珠洲市三崎町,珠洲市大谷町＊					
⑬	4月23日15時35分	石川県西方沖	36° 56.6’ N	136° 22.7’ E	11 km	M 3.0
	震度1 ： 志賀町香能＊					

石川県で震度1以上を観測した地震について、石川県内の各地の震度を掲載しています。
＊の付いた観測点は石川県または国立研究開発法人防災科学技術研究所の観測点、他は気象庁の観測点です。

この資料は速報であり、後日の調査により修正することがあります。
※この資料に関する問い合わせ先　　金沢地方気象台　地震担当 電話番号 076-260-1462
　金沢地方気象台ホームページにも掲載しています。　　https://www.data.jma.go.jp/kanazawa/shosai/siryou.html
「トップページ」＞「気象台の刊行物・観測統計資料」＞「農業気象速報・気象概況・地震概況・気象年報」から閲覧できます。
※本資料中のデータについて
　本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、EarthScope Consortium の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています

日本付近で起こる地震のタイプ

日本付近で発生する地震は、発生場所によって次の 3 つに分けられます。

①プレート境界の地震

沈み込む海のプレートと陸のプレートとの境界付近で発生する地震です。海のプレートが陸のプレートの下に沈みこむ際に、陸のプレートの先端部もいっしょに引きずり込んでいます。やがてそれが限界に達したときに、陸のプレートが跳ね上げられるようにずれ動くことにより地震が起こります。プレート境界で発生する地震は規模（マグニチュード）が大きく、強い揺れによる被害に加え、津波の被害が出る場合があります。

平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震や想定される南海トラフ地震は、このタイプの地震です。

②陸域の浅い地震（地殻内地震）

陸のプレート内の、浅いところ（地殻内）で発生する地震です。
日本列島が位置する陸のプレートでは、沈み込む海のプレートの影響で、間接的な力によりひずみが岩盤に蓄積されています。そして、ひずみに耐え切れなくなると、岩盤が破壊されて地震が発生します。プレート境界の地震のように規模は大きくなくても、震源が地表に近いため、強い揺れによる大きな被害が出ることがあります。

令和６年能登半島地震や平成 19 年（2007 年）能登半島地震は、このタイプの地震です。

③沈み込むプレート内の地震

海のプレートの内部で発生する地震です。沈み込みに伴って海のプレート内部にひずみが蓄積され、海のプレートを構成する岩盤が破壊されて地震が発生します。震源が深いまたは陸から遠いため、強い揺れによる被害が出ることは少ないですが、陸から遠く海域で起きる地震の場合は津波による被害をもたらす地震が起きることがあります。

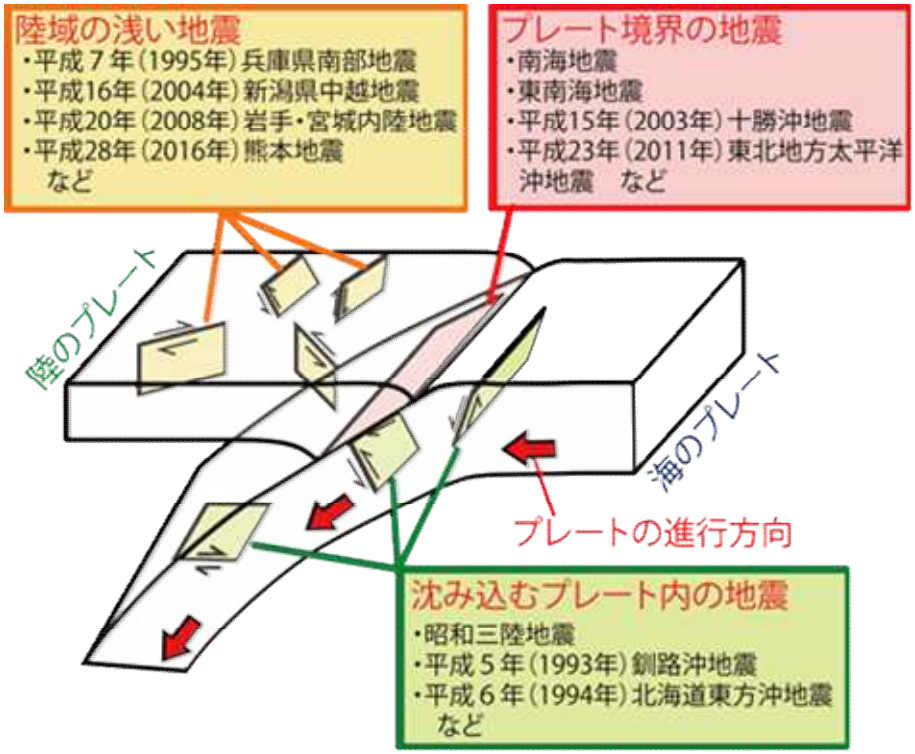


図２　地震のタイプの模式図

令和６年能登半島地震の活動域とその周辺で活発な地震活動が継続中

令和７年５月　地震防災メモ②
金　沢　地　方　気　象　台

【防災事項】

〇2024 年１月１日に発生した M7.6 の地震により揺れの強かった地域では、家屋の倒壊や土砂災害などの危険性が高まっているので、復旧活動などを行う場合には今後の地震活動や降雨の状況に十分注意。やむを得ない事情が無い限り危険な場所に立ち入らないなど身の安全を図る。

〇地震は海域でも発生しており、大きな地震が発生した場合は津波が発生することがあるので、避経路の確認などの備えも重要。

〇一連の活発な地震活動は当面継続するので、家具の固定､重量物の落下・転倒の防止を行うなど、強い揺れを伴う地震へ注意。

〇石川県では、大雨の影響で地盤が脆弱になっている場所があり、土砂災害の危険性が通常より高いと考えられる。

【概況】

石川県能登地方では、2020 年 12 月から地震活動が活発で、2023 年 5 月頃からさらに活発となったあと、いったん地震活動が 2020 年 12 月以降の状態に戻ったが、2024 年１月１日のM7.6 の地震により、最大震度７を観測するなど能登半島を中心に強い揺れとなり、地震活動の更なる活発化とともに地震の発生領域も広がった。

2024 年１月１日から１年以上が経過し、地震の発生数は増減を繰り返しながら、大局的には緩やかに減少してきているが、2024 年 11 月 26 日にM6.6 の地震が発生するなど 2024 年１月１日のM7.6 の地震後の活動域及びその周辺では、４年以上続く地震活動が依然として活発な状態。

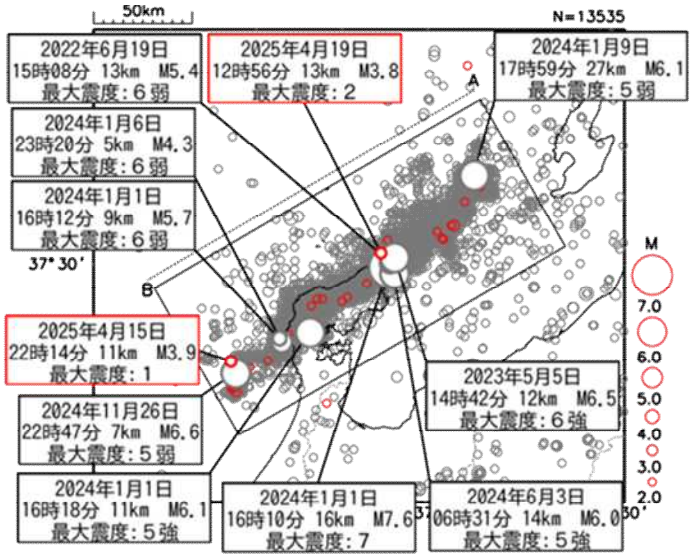
今期間（４月 15 日以降)、震度１以上の地震を６回観測した。今期間の最大規模の地震はM3.9 の地震（15 日 22 時 14 分、七尾市、羽咋市、志賀町、小松市、加賀市、津幡町、かほく市で震度１）で、最大震度を観測した地震はM3.8（19 日 12 時 56 分、珠洲市で震度２）である。

※震度は震度計のある場所で観測したものを発表している。震度１以上の地震情報を発表していない場合でも、震源直上の現地では揺れや音などを感じていると考えられる

震央分布図　2020.11. 1～2025.5.6 24 時まで
M2.0 以上、深さ 30km 以浅

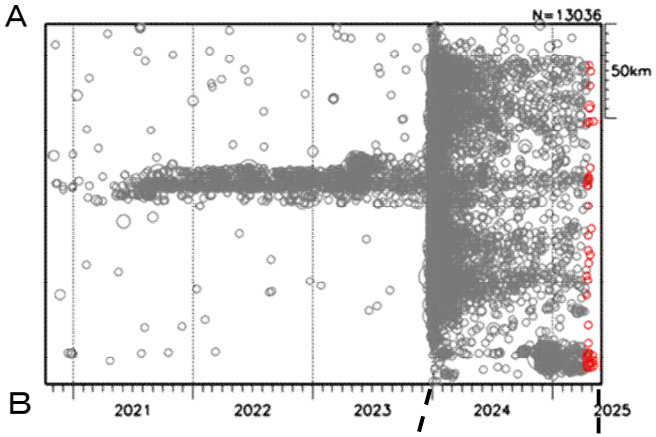
黒の吹き出しは、震度６弱以上
またはM6.0 以上の地震

※4 月 15 日以降の地震を朱色で表示
（赤の吹き出しは期間内最大M及び最大震度の地震）

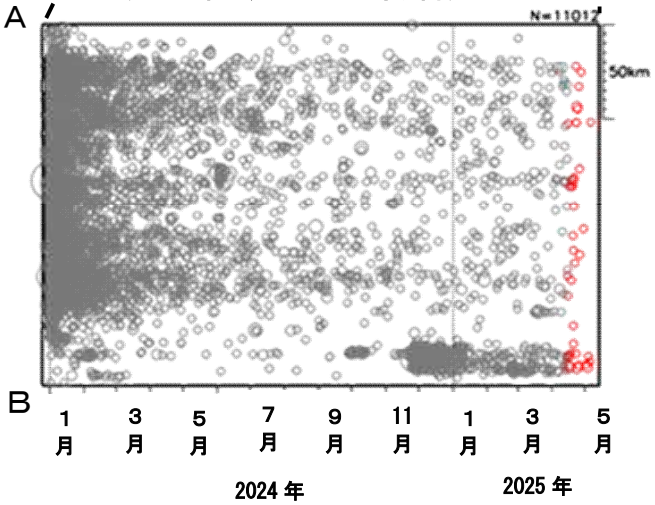


丸の大きさはマグニチュードの大きさを表す。
表示している震源のうち、5 月 6 日 00 時以降の
ものは速報値。

時空間分布図
（矩形領域内：A-B 投影、2020 年 11 月以降）

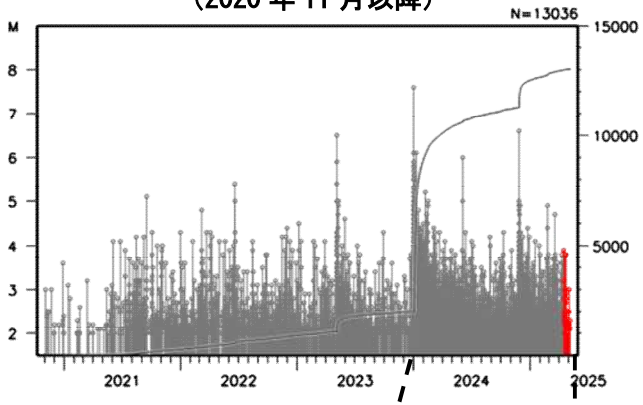


（2024 年 1 月 1 日 00 時以降）

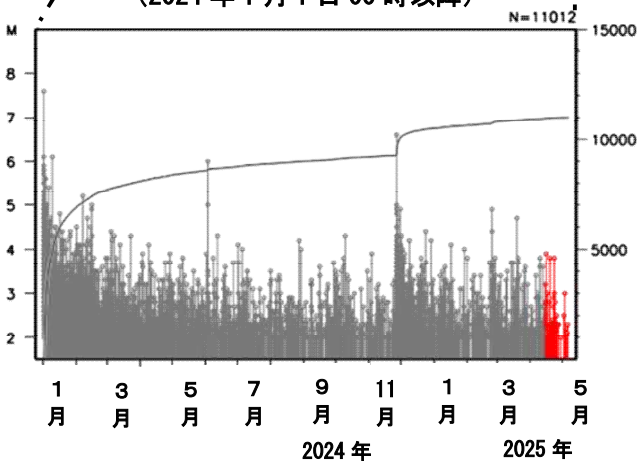


矩形領域内の地震活動経過図
及び回数積算図

（2020 年 11 月以降）

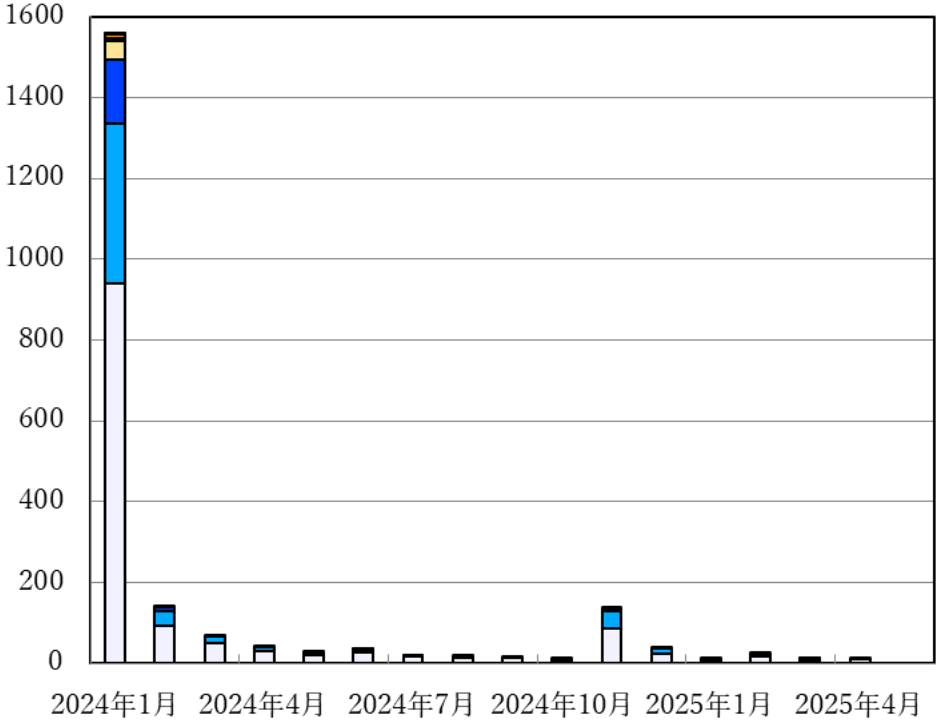


（2024 年 1 月 1 日 00 時以降）

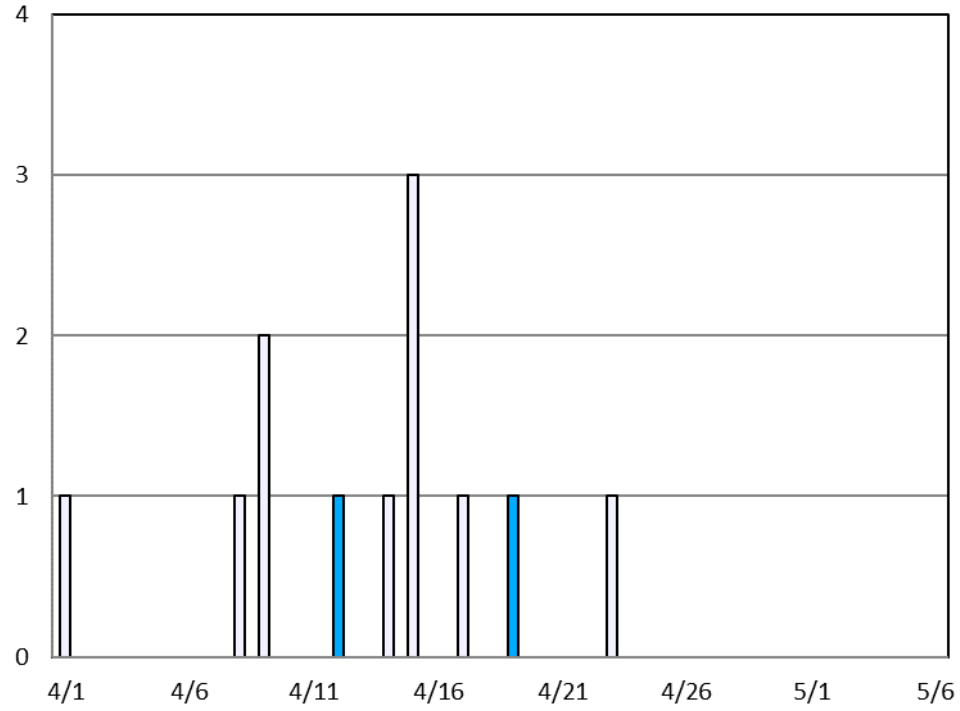


令和6年能登半島地震の日別・震度別震度回数（令和６年１月１日以降）

震度1以上の地震の月別回数（2024 年１月～2025 年５月）



震度1以上の地震の日別回数（2025 年４月１日～5 月６日）

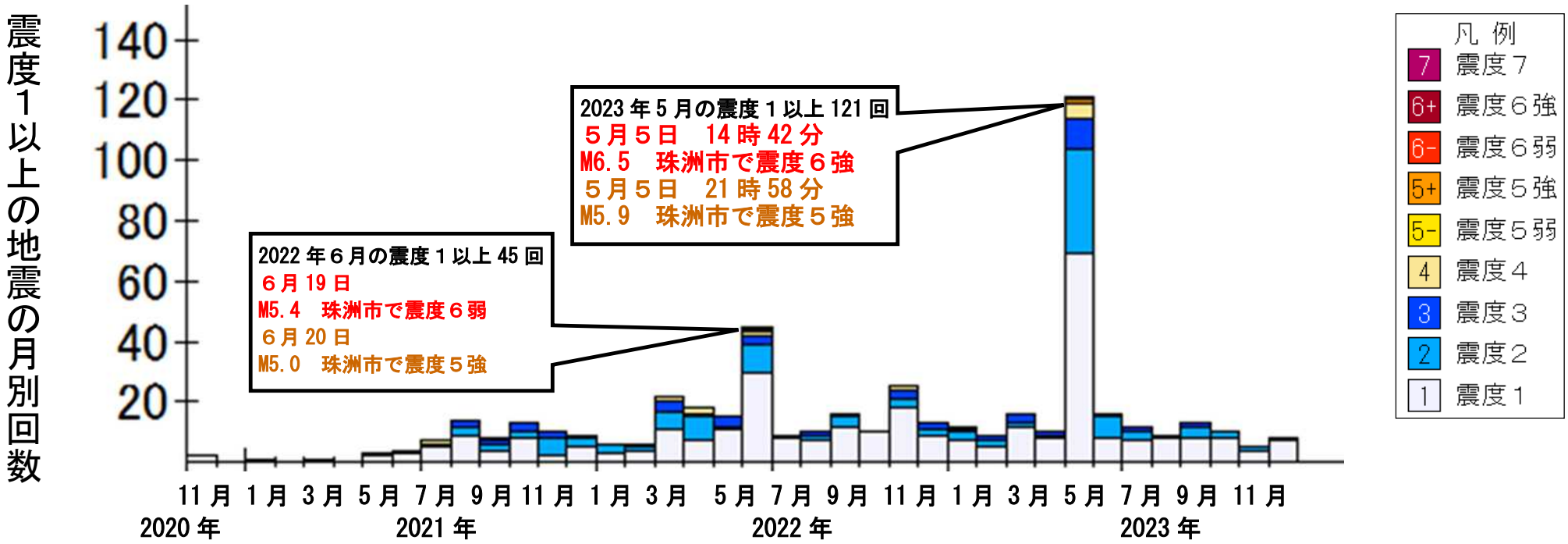


令和6年能登半島地震の地震活動による日別・震度別震度回数グラフ
（2024 年1月1日～2025 年5月6日 24 時まで）

○2024 年１月に震度１以上を観測した地震は 1558 回。１月１日から３日は１日 100 回を超えていたが、次第に回数は減少。２月は 144 回、３月は 70 回、４月は 45 回、５月は 28 回、６月は 35 回、７月は 20 回、８月は 18 回、９月は 18 回、10 月は 14 回、11 月は 136 回、12 月は 37 回、2025 年１月は 12 回、２月は 25 回、３月は 12 回、４月は 12 回観測した。５月は０回である。

（注）掲載している値は速報のもので、その後の調査で変更する場合があります。

令和6年能登半島地震の地震活動による月別・震度別震度回数（令和5年12月31日まで）



令和６年能登半島地震の地震活動による月別・震度別震度回数グラフ

（2020 年 11 月 1 日～2023 年 12 月 31 日まで）

※令和６年能登半島地震の地震活動と防災事項については、下記のポータルサイトが充実していますので、こちらも参照願います（この資料も掲載しています）。

〇金沢地方気象台ＨＰ「石川県能登地方の地震活動と防災事項ポータルサイト」

https://www.data.jma.go.jp/kanazawa/shosai/notojishinportal.html